



神の代々の世ふひんあふ梅 百生  
 春梅 山くひつゝ人乃乳  
 我雪のあゝろ拓くそまめ門 米氣  
 朝ちつり注そあけ一ふふ菜 竹ふ

六翁集より雀と鳥と朝のあ 長吉  
 はくしと大雪のあゝくろ鳥 無隠  
 蘭とくろく下は降あゝ夜のあ 我雪  
 半はくろくのあゝくろ石蔵のあ 瑞馬  
 はりのあゝくろのあゝくろのあ 世亭

あゝくろ鳥とあゝくろ梅のあ 井眉  
 春梅 魚眼  
 いとつりあて一梅なとちとりあ 春梅

あはやくゝのあゝくろのあ 萬和  
 初ゆのあゝくろのあゝくろのあ 拾葉  
 晴ちつり水とくろのあゝくろのあ 勝居  
 初雪のあゝくろのあゝくろのあ 家久  
 草れやや雪とくろのあゝくろのあ 五美

あゝくろのあゝくろのあゝくろのあ 菊房  
 山月やとくろのあゝくろのあ 新  
 古梅やとくろのあゝくろのあ 吾雀  
 いとろ居れあゝくろのあゝくろのあ 高例

春の夜とくろのあ 丁  
 古あゝくろのあ 南滴



法橋周南五翁集

